

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2025年度)

施策コード	41
-------	----

まちづくりの方針	4 交通・都市基盤・水環境
施策	1 都市計画
施策のめざす姿	人口が減少する中であっても、充実した都市機能が維持され、市民が安全で快適に暮らす、スマートでコンパクトな都市が実現しています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
魅力あるまちの形成に満足している市民の割合(%)【まちづくり事業課】	5.5	—	—	—	—		8.1	10.8
土地の有効活用と環境整備に満足している市民の割合(%)【まちづくり事業課】	10.5	—	—	—	—		13.2	15.9
総人口に占める若年子育て層(20歳～39歳)の総数と割合(人・%)【まちづくり事業課】	12,239 19.5	11,745 19.3	11,826 19.6	11,840 19.7	11,725 19.8		12,350 20.0	12,500 22.0

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 快適でにぎわいある安全なまちづくり【重点】	まちづくり事業課	<p>官民連携事業第2弾の津島神社周辺エリア観光ターミナル、第3弾の(仮称)シビックプライド醸成拠点の民間事業者を選定できた。第4弾の津島駅再整備に向け、名鉄と津島駅再整備基本計画を策定することについて調整がついた。</p> <p>名鉄やUR都市機構と連携をして津島駅再整備を推進するとともに、駅周辺の基盤整備を進める。</p>
2 社会情勢の変化に対応したまちづくり【重点】	まちづくり事業課 都市計画課	<p>北の玄関について、地元住民を中心としたまちづくり勉強会を開催し、魅力あるまちづくりを推進するための意識醸成を図ることができた。</p> <p>地元住民が考えたまちの将来像を実現するため、関係機関協議を進め、実現可能な手法を検討する。</p>

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	正面玄関である津島駅周辺については、順次、施策に着手しているのに加え、令和5年度に天王川公園Park-PFIが完了、令和6年度には津島神社周辺エリア観光ターミナル及び(仮称)シビックプライド醸成拠点の民間事業者が選定され、快適に暮らせる都市の姿が形になり始めている。市街化調整区域の新たなまちづくりに向け地域住民や民間企業との勉強会を通じてまちづくりの意識醸成を図ることができた。	評価	A
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	正面玄関の核である津島駅について、名古屋鉄道やUR都市機構と連携をして再整備基本計画を策定し、計画に基づき、着実に再整備を進めていくことが必要である。市街化区域調整区域の土地利用は、地域住民と共に考えたまちづくり案を実現するために、実現可能な手法の検討や事業計画の策定を進める。	方針	継続